



生涯学習振興・社会教育関係職員等研修【社会教育主事等研修（理論編）】

平成30年7月27日

1

【もくじ】

- 1 三次市ってどんなところ？
- 2 まちづくりの組織について
- 3 活動拠点について
- 4 まち・ゆめ基本条例（まちづくりの仕組み）
- 5 地域まちづくりビジョン（ビジョンづくり）
- 6 住民自治・地域振興活動への支援
- 7 住民自治・地域振興活動の紹介
- 8 これからのまちづくり（課題・展望）



2

1 三次市ってどんなところ？

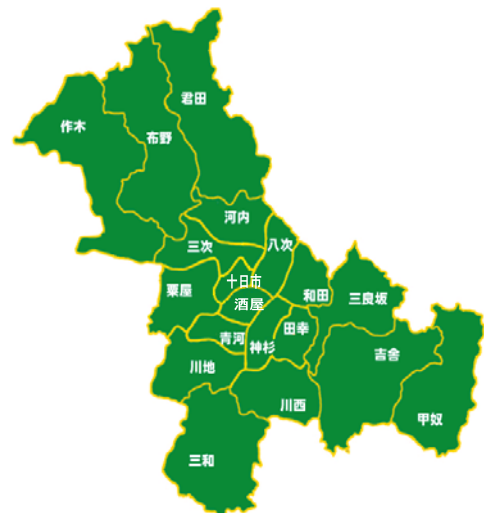


- ・平成16年4月1日 8市町村合併
- ・面積 778.19平方キロメートル
- ・人口 53,200人（平成30年1月1日現在 外国人を含む）
- ・世帯数 23,536世帯（ " ）
- ・高齢化率 34.8%

2 まちづくりの組織について

- ・平成16年4月 8市町村
- ・旧三次市 → 12の公民館単位
- ・旧町村部 → 1団体ずつ

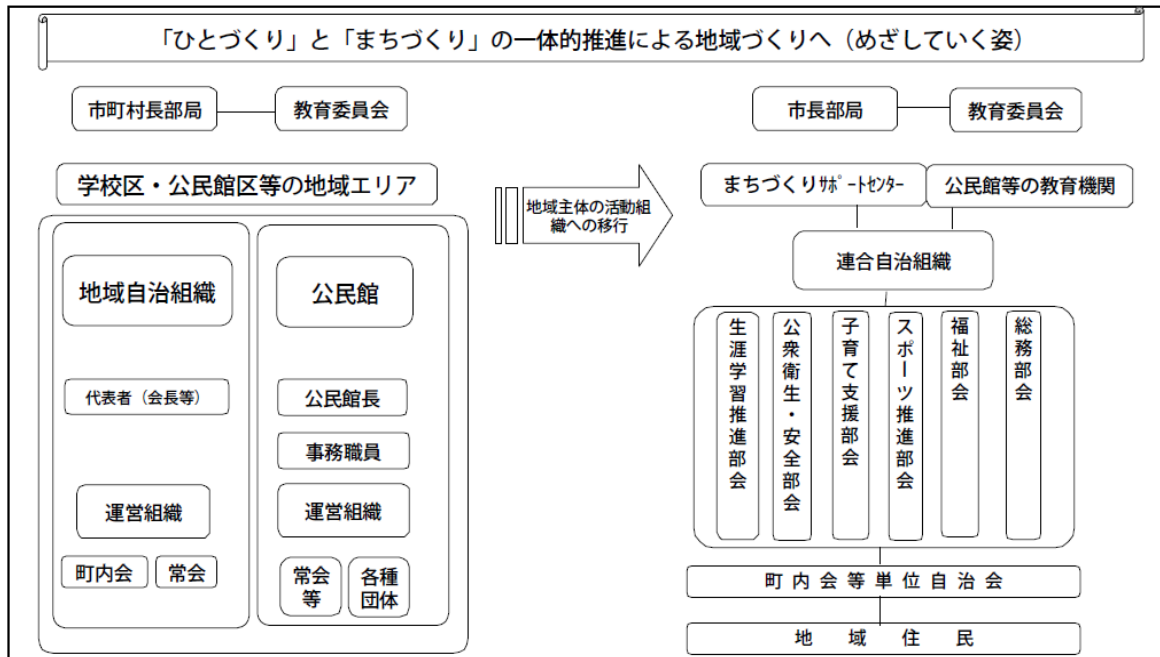
⇒ 合計19の住民自治組織を設立



- ⇒ 住民自治組織の準備・設立（平成17～18年）
- ⇒ 「三次市まち・ゆめ基本条例」制定（平成18年）
- ⇒ 全19住民自治組織で「地域まちづくりビジョン」制定（平成18年）

2 まちづくりの組織について ②組織設立のイメージ

〔基本体系図（モデル案）〕※新市「住民自治のまちづくり活動プラン」基本構想（H15年11月策定）より



5

2 まちづくりの組織について ③住民自治組織の規模

(平成29年10月1日現在)

地域	自治組織名称	人口	単位自治会数	常会数
河内	河内まちづくり連合会	923	5	28
三次	三次地区自治会連合会	4,518	23	144
粟屋	粟屋町づくり協議会	1,594	1	33
川地	川地連合自治会	1,881	8	46
青河	青河自治振興会	443	1	12
十日市	十日市自治連合会	10,171	10	144
酒屋	酒屋地区自治会連合会	1,919	6	18
八次	八次地区連合自治会	9,312	15	131
和田	和田自治連合会	1,585	1	16
神杉	神杉地区自治会連合会	1,539	1	28
田幸	田幸地区町内会連合会	1,437	7	29
川西	川西自治連合会	1,074	5	47
君田	君田自治区連合会	1,561	7	53
布野	布野町まちづくり連合会	1,518	4	23
作木	作木町自治連合会	1,415	12	83
吉舎	吉舎町自治振興連合会	3,881	6	123
三良坂	三良坂町自治振興区連絡協議会	3,211	10	94
三和	三和町自治連合会	2,896	15	74
甲奴	甲奴町振興協議会連合会	2,517	5	82
		53,395	142	1,208

6

3 活動拠点について

①公民館をコミュニティセンターへ移設

市内に29の公民館

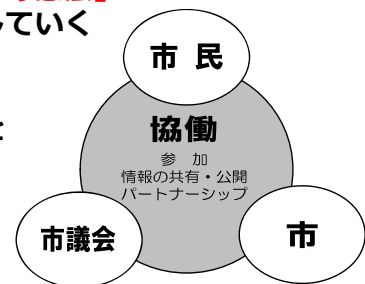
- | | | |
|-----|------|-----------------------|
| 12館 | 旧三次市 | ・・・旧三次市の住民自治組織の拠点 |
| 17館 | 旧町村 | 1館・・・教育委員会 |
| | | 5館・・・自治振興会の拠点 |
| | | 3館(2)・・・内1館が住民自治組織の拠点 |
| | | 2館・・・自治振興会の拠点 |
| | | 4館・・・自治振興会の拠点 |
| | | 4館・・・振興協議会の拠点 |



公民館29館を、コミュニティセンターに変更。

4 まち・ゆめ基本条例 (H18.4.1策定)

まちづくりの基本理念や仕組みを定める最高のきまり「**三次市の憲法**」
市民の権利、市議会や市政運営の基本を定め、みんなで尊重していく
最高の約束。他のきまりをつくったり、運用していく時も、
この条例の理念や趣旨にそって行う。
市民と市議会及び市がお互いに理解を深め、信頼しあう関係をつくり、協働して取り組むまちづくりをめざす。



基本3原則

- ・ 協働のまちづくり
- ・ 市民参加のまちづくり
- ・ 情報の共有と公開

住民自治組織

ビジョンに基づく
まちづくりの展開

策定

実行

地域まちづくりビジョン (平成17~18年度策定)

地域のまちづくりを進めていく上で、自分たちがどのようなまちを目指し、まちづくりを進めていくのか、地域内合意により策定した指針。

5 地域まちづくりビジョン（ビジョンづくり）



みんなが、幸せにいきいきと暮らしていけるよう、地域の夢や将来像、地域資源を活用した活性化、地域が抱える課題について、実現可能なプランを、**地域住民が自ら考え、地域内合意を行い、策定したものが地域版総合計画の「地域まちづくりビジョン」**です。

6 住民自治・地域振興活動への支援

ヒト

- 地域振興課（地域づくり係）
⇒旧三次12住民自治組織の運営をサポート
- 各支所（地域づくり係）
⇒各支所管内の7住民自治組織の運営をサポート
- 地域応援隊（市職員95人）、集落支援員（12人）、地域おこし協力隊（12人）

モノ

【施設管理】
指定管理者制度（各コミュニティセンター）

カネ

- 【活動支援】平成29年度
自治活動支援交付金（活動費）100%
- 対象：19住民自治組織
 - 当初予算：170,173千円
- 地域力向上支援事業（地域課題解決と特色ある地域づくりを支援）
- 補助率：100万円まで10/10 100万円を超える部分2/3
 - 対象：19住民自治組織
 - 当初予算：27,500千円

7 住民自治・地域振興活動の紹介 **事例 1 川西地区**

株式会社川西郷の駅

- ⇒人口減少、高齢化の進行、市役所出張所、JA支所、各種商店、ガソリンスタンドなど、暮らしを支える主要施設が地域から消滅
- ⇒平成18年度、地域まちづくりビジョンに「小さな拠点」郷の駅づくりを提唱



7 住民自治・地域振興活動の紹介 **事例 1 川西地区**

株式会社川西郷の駅

- ⇒地域世帯の85%が出資し、拠点運営のための株式会社を設立
- ⇒建物等施設は、株式会社川西郷の駅が建設
- ⇒駐車場、公衆トイレ、グラウンド等は三次市が整備
- 株式会社川西郷の駅により、農村コンビニ、農産物直売所を運営



7 住民自治・地域振興活動の紹介 **事例 2 清河地区**

有限会社 ブルーリバー

⇒地域の小学校の児童数が減少し、
統廃合の危機に直面

⇒小学校を残したいという思いから、
地域の価値観を高め、新たな住民を募る活動趣旨
に賛同した**地域住民が出資**し有限会社を設立



- 賃貸住宅の建設と既存住宅のリフォームを行い、
転入希望者（小学生以下の子どもがいること）
へ安価で賃貸
- 14家族63人の移住実績**

13

7 住民自治・地域振興活動の紹介 **事例 2 清河地区**

合同会社 あおが

⇒地域住民67名の出資により設立

⇒三次市が「山紫水明の郷・三次どぶろく特区」認
定され、どぶろく醸造認可を取得

- 農家レストランこいこい屋を建設・運営
(手打ちそば、どぶろく販売など、地域の食材を活用)



14

7 住民自治・地域振興活動の紹介 **事例 3 作木地区**

NPO法人 元気むらさくぎ

⇒地域の自治会連合の有志が設立した地域運営組織

⇒総事業費 1 億円を超える事業を実施

観光交流事業

- 江の川カヌー公園さくぎ運営
- 川の駅「常清」運営
- レストランカノエ 運営



農業支援事業

- 作木農畜産物処理加工施設運営
- 作木水産物処理加工施設管理運営受託
- 農業支援事業



7 住民自治・地域振興活動の紹介 **事例 3 作木地区**

NPO法人 元気むらさくぎ

福祉事業

- グループホームさくぎ天楽庵運営
- 自家用有償運送（さくぎニコニコ便）
- 三次市高齢者冬季限定宿泊施設（天楽庵）
- 作木学校給食共同調理場調理業務受託



8 これからのまちづくり

三次市型まちづくり

ヒト・モノ・カネ

**3つの
特徴**
+


- 1 市内19の住民自治組織によるまちづくり
- 2 公民館のコミュニティセンター（自治センター化）
- 3 まち・ゆめ基本条例の制定（協働のあり方を定義）

↓

合併10年後

次のステージへ

**4つの
挑戦**



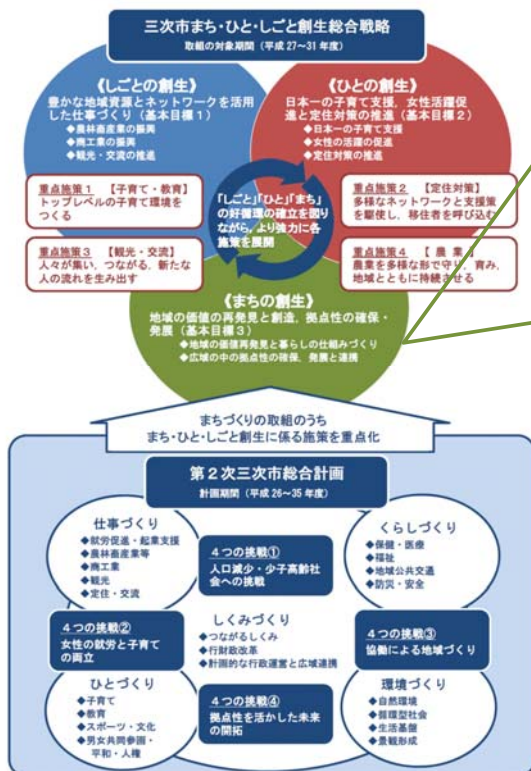
第2次
三次市総合計画
ダイジェスト版

- 1 人口減少・少子高齢社会への挑戦
- 2 女性が働き続けながら子育てできる環境づくり
- 3 市民の力を引き出し、地域づくりにとらね取り組む
- 4 拠点性を活かして三次の未来を拓く

一歩進めた地域づくりのあり方

8 これからのまちづくり

(2) 戦略の構成図（第2次三次市総合計画との関係）



地域の価値の再発見と創造、
拠点性の確保・発展

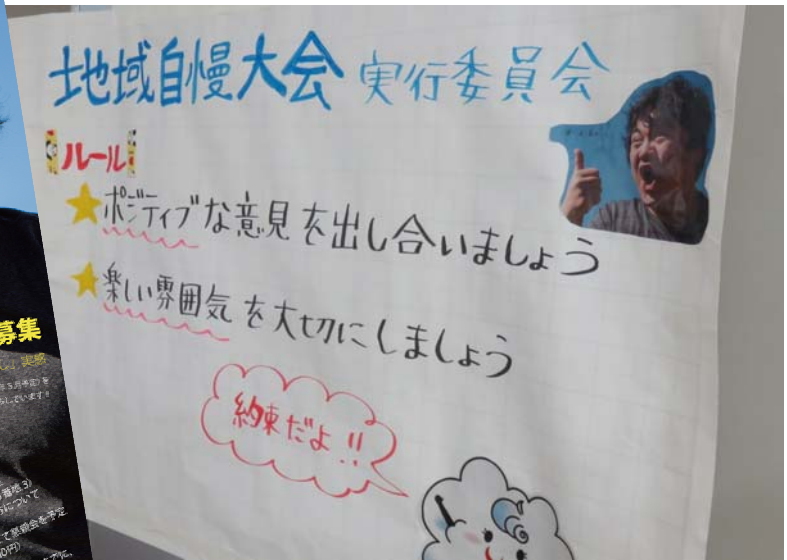
◆地域まちづくりビジョンの見直しと持続可能な地域づくり

- ・地域まちづくりビジョンの検証・見直し
- ・住民自治組織が中心となった地域拠点づくりへの支援
- ・地域応援隊などによる地域との対話・協働の推進

◆地域づくりを支える「つながる場」の構築

- ・地域住民＋市外の人たちが「つながり、新しい価値を作りだす場」づくり
- ・地域おこし協力隊事業
- ・遊休施設を利用した事業の実施

8 これからのまちづくり ～地域と若者をつなぐ仕組みづくり～





Let's agriculture!

仕事づくり

(6/21/2023)

～若者が切り開く新しい農業～

氏名 石田 小田 新濱 谷 富塚 松本 山本

課題：農業の衰退     

理由：農業従事者の平均年齢が高く、後継者が少ないこと。

イメージ・知名度

課題：3K (汚い、くさい、かっこ悪い)のイメージ
補助、支援サービスの知名度の低下

解決策：テレビや広告などで"いいイメージ"を
アピール!! (例) 鉄腕DASH!!

技術① BC 技術

単位あたりの生産量の増大、安定化
↳ 経営規模に関係なく効果あり

② M 技術

単位あたりの労働時間の節約
↳ 経営規模が大きいほど効果あり

人材育成 課題：農業を好きな子供を育てる

解決策 ① 農業体験の実施

例) 農業学生が考えた体験を小・中学校
で行う。

資金 課題：機械や設備などの
資金が足りない

解決策：① 手軽に資金が提供できる
サービスを作る



